

まった数の食害痕や幼虫が確認できた (Figs. 3, 4). 野外でも同様な状況が見られるのか, 今後, 確認を要する. 幼虫は頭部後方が前胸にはまり込むことや, 第8腹板背方に伸長した突起を有し, 気門がその先端に位置するなど, アシプトゾウムシ族の形態的特徴を備えている (Figs. 5, 6).

本属の種は, これまでにマキ科, クワ科, ツバキ科, カキノキ科, モクセイ科, アカネ科と, 針葉樹から広葉樹に至る多様な樹種を利用することが知られていて, 幼虫の加害部位も, 花や葉, 果実, 種子と多様である (Kojima *et al.*, 1998). 日本からこれまでに11種が知られ, そのうちの4種 (フタスジアシプトゾウムシ *O. binotata* Kojima & Morimoto, 1996 (以下, 種名のアシプトゾウムシを略), ヒラマツ *O. hiramatsui* Kojima & Morimoto, 1996, ホリカワ *O. horikawai* Kojima & Morimoto, 1996, ニッポン *O.*

nipponica Kojima & Morimoto, 1996) の成虫がツバキ科のヒメシャラ *Stewartia monadelphica* から得られており, 本種を含め5種がツバキ科利用であることが確認できた. なお, ヒメシャラ利用の種に関しては, 幼虫の加害部位は不明で, 4種が同所的に得られる場所もあり, 今後, その解明が待たれる.

最後に, 本調査研究は, 一部, 東京農業大学戦略研究プログラム (代表: 小島弘昭) の研究助成を受けて行われたことを記しておく.

引用文献

- Kojima, H., K. Morimoto, & M. Horikawa, 1998. Two new species of the genus *Ochyromera* (Coleoptera: Curculionidae) from Japan. *Esakia, Fukuoka*, (38): 113–122.
小島弘昭, 2008. 樹冠のゾウムシ. 昆虫と自然, 43 (1): 23–26.

(2020年5月11日受領, 2020年7月10日受理)

【短報】滋賀県におけるニセコウベツブゲンゴロウの記録

近年新種記載されたニセコウベツブゲンゴロウ *Laccophilus yoshitomi* Watanabe et Kamite, 2018 (以下, ニセコウベ) は滋賀県での記録が無かった. 一方, 近縁種コウベツブゲンゴロウ *L. kobensis* Sharp, 1873 (以下, コウベ) は県内の複数の地域で記録があり, 県のレッドデータブックでは「希少種」に選定されている (河瀬, 2016). 両種の形態はよく似ており, 他県でのコウベの記録にニセコウベが含まれていた事例が報告されている (内田・渡部, 2019; 渡部ら, 2019). そこで筆者らはコウベとして記録された滋賀県産標本の一部を調査した.

その結果, 河瀬 (2007) においてコウベとして報告された長浜市産の5個体と, これらと共に採集された未同定の標本がニセコウベであることが判った. 河瀬 (2007) の記録は滋賀県の水生甲虫相をまとめた河瀬ら (2011) に引用されてお

り, 県のレッドデータブックではコウベの分布情報に反映されている (河瀬, 2016). 本稿にてこの記録を修正する.

ニセコウベツブゲンゴロウ *Laccophilus yoshitomi* Watanabe et Kamite, 2018
3♂♂ 5♀♀, 長浜市西浅井町山門 (山門湿原), 24. V. 2006, 河瀬採集, み

なくち子どもの森自然館所蔵.

ニセコウベが採集された山門湿原は池塘が点在する高層湿原である. 2020年6月にニセコウベの生息確認のために湿原内を調査したが再発見できなかった. 滋賀県における両種の記録や生息地を把握するために今後も標本調査と野外調査を実施したい.

山門湿原での調査に当たって, 湿原の保全や管理を行っている「山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会」の藤本秀弘氏に湿原への立入りを御許可頂き, 現地を御案内頂いた. また, 石川県ふれあい昆虫館の渡部晃平氏にはニセコウベに関する有益な知見を多々御教示頂いた. 文末であるが御礼申し上げる.

引用文献

- 河瀬直幹, 2007. 滋賀県産ゲンゴロウについての新知見と分布種の整理. *Came 虫*, 23: 2–5.
河瀬直幹, 2016. コウベツブゲンゴロウ. p. 438. 滋賀県で大切にすべき野生生物. 647 pp. 滋賀県自然環境保全課.
河瀬直幹・中西康介・向井康夫, 2011. 滋賀県の水生甲虫相 I. 陸水生物学報, (26): 21–46.
内田大貴・渡部晃平, 2019. 長野県におけるニセコウベツブゲンゴロウの記録. さやばねニューシリーズ, (34): 28.
渡部晃平・藤本博文・出嶋利明・北川雄士, 2019. 四国におけるニセコウベツブゲンゴロウの初記録. さやばねニューシリーズ, (34): 64.

- (村上大介 523–0821 近江八幡市多賀町 396–2 株式会社ラーゴ)
(河瀬直幹 528–0051 甲賀市水口町北内貴 10 みなくち子どもの森自然館)
(中西康介 305–8506 つくば市小野川 16–2 国立環境研究所)



図1. 滋賀県産ニセコウベツブゲンゴロウ♂.